

中学校部活動改革の 進め方やスケジュールは

高山市政クラブ
西本 泰輝



問 国は学校部活動を段階的に地域での活動に移行する方針を打ち出し、市では中学校部活動検討委員会でのあり方を検討しているが、児童生徒や保護者などの十分な理解が得られて進められているのか。部活動改革の本来の趣旨や今後の進め方、スケジュールは。

答 中学校長がアンケート結果や部活動のあり方を説明し、保護者へも生徒説明資料や広報で情報提供している。令和5年度から部活動がなくなるわけではなく、休日でも行き場を失わないよう、柔道の拠点校方式のように学校の枠に捉われない多様な方式への転換等柔軟に考えていく。



前向きに社会参加する 人たちを支援しよう！

高山市政クラブ
西田 稔



問 自動車運転免許取得助成事業は、自動車教習所に本人が支払った分を後に還付する方式であるが、障がい者のための免許取得費用は自動車教習所入校時に助成して欲しいとの声がある。障害者年金受給者の中で、一括で取得費用を支払える人は少ないと聞いているがどうか。

答 この事業は、免許の取得に要した費用に対する助成であるため、免許証の写しと費用の内訳が確認できる書類が必要である。しかし、助成を受ける前の本人負担が大きいと聞いているため、助成する時期を早める方法を検討していく。



DX対策としてマイナ バーカードの普及を

高山市政クラブ
榎 隆司



問 DX推進に向けマイナンバーカードの普及施策は大きな効果があると考えます。市独自のポイント付与や行政手続を可能とするような施策の考えは。

答 独自のポイント事業を実施する考えはないが、オンライン申請の促進に必要な環境整備を進め、取扱い件数の多い手続き・転居や出産等ライフイベントによるもの等から順次進め、大部分の手続きがオンライン化できるように積極的に取り組んでいく。



今年のコシヒカリが概算で 1俵2,000円下落、米作農 家の支援はできないか！

高山市政クラブ
渡辺 甚一



問 新型コロナウイルスにより、外食産業・宿泊・宴席が激減し、飛騨の米の消費が減少し米価は2,000円下がった。さらに、祭り行事が縮小化され、地酒が消費されず酒米農家も大きな痛手である。米作農家への支援が必要ではないか。

答 全国的なコメ余りで米価は下落している。飛騨3市1村では、経営安定を目的に融資に対しての利子補給制度を創設し支援している。ふるさと納税の返礼品をはじめ、産業団体等消費活性化策支援事業を活用した販売促進キャンペーンなど、需要喚起策により有利販売に向けた取組を支援していく。

